

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 5 月 19 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名		市道登記測量事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計 画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	都市建設部	課長名 上原哲也
	施策	24	行財政改革の推進	所属課	建設課	担当者名 上村恭子
	基本事業	90	公有財産の管理運営	所属班	管理計画班	(内線) 2274
				法令根拠		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	10
	1	8	2	1	11153			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
市道用地の登記事務及び各課からの登記依頼に対応する業務。
【業務の流れ】
・業務に伴い登記事務嘱託職員任用、報酬支払い。・登記案件受付、書類の精査、不足書類作成業務の依頼、測量委託、成果品納入、登記嘱託書類作成、登記嘱託、登記完了証の受領、代金支払。
・熊本県公共嘱託登記土地家屋調査士司法書士協会へ登記事務を委託。成果品納入。委託料支払。
【主な予算費目】報酬、委託料、使用料

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 20年度に合志市が取得した土地の登記を行った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 取得用地	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 登記嘱託件数 件 イ 測量・登記業務委託件数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市が取得した土地の所有権を合志市へ移転する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 筆数 筆 イ 地積 m
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 目的に沿って適正に管理され、有効に活用されている。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 取得用地のうち登記が完了した割合 % イ ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 普通財産(土地)のうち売却等の処分をした面積の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	5,380	3,234	6,189	5,372	6,189	6,189		6,189
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	7	7	7		7
		延べ業務時間	時間	460	460	460	880	880	880		880
(B)人件費計		千円	1,826	1,831	1,831	3,502	3,502	3,502	3,502		
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,206	5,065	8,020	8,874	9,691	9,691	9,691		

活動指標	ア 件 イ 件	114 9	81 8	100 10	106 11	100 10	100 10	100 10
対象指標	ア 筆 イ m	97 7544	67 4593	100 8000	82 10191	100 8000	100 8000	100 8000
成果指標	ア % イ	100	100	100	100	100	100	100
上位成果指標	ア % イ	0	0	0	0	10	10	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
合志市が取得した土地の権利を公示し、市財産の保全を図るため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成17年に改正不動産登記法が施行され、登記の電子申請の導入等、これまでの登記制度を大幅に変更する全面的な改正が行われた。それにより、新たに登記原因証明情報の提供や、測量図へ土地筆界点の座標値の明記等、実務が大きく変化した。また、本市は国土調査を昭和40年~50年代に行っており、当時の測量精度と現在の測量精度の差から現地と地図が一致しないという事例も多々みられ、登記事務において大きな課題となっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし。

事務事業名	市道登記測量事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 取得用地の登記をし、土地の権利を公示することで、道路及び市管理用地を適正に管理し、有効に活用することに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市財産保全のため必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 現状維持
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 市の取得用地の測量登記事務を廃止した場合、市財産の権利を明確化できないため、市道等の市公共用地の適切な維持管理ができない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 適正な事業推進のためには削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在も、嘱託職員の任用、登記委託を実施しており、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市取得用地の測量登記事務であるため、公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)